

化学物質安全データシート (MSDS)

会 社 株式会社ニチレイバイオサイエンス
 住 所 東京都中央区築地 6-19-20
 担当部署 品質保証部
 電話番号 03 - 3248 - 2208
 FAX 番号 03 - 3248 - 2243
 緊急連絡先 同上
 作 成 2005年4月 1日
 第5改訂 2010年3月 1日*
 第6改訂 2010年8月 10日**

MSDS No. 415141

製品名 非水溶性封入剤

製品コード	成分	単一製品, 混合物の区別
415141	60%キシレン	混合物

適用法令：研究用試薬



番号		適用法令
1.	60%キシレン	毒物及び劇物取締法：劇物（60%のため、適用外） 労働安全衛生法 （表示物質、有機則（第2種有機溶剤）、危険物（引火性の物） 政令指定物質「表示の対象となる物質」政令第18条第7号の2）** PRTR法（第一種指定化学物質）別表第一 80（注：2009年度まで63）* 消防法（第4類第2石油類（非水溶性液体） 指定数量：1000L以下*より適用外

火災時の措置	消火方法	消火剤
	周辺火災の場合、本製品を安全な場所へ移動する。関係者以外は安全な場所に退去させ、火元の燃焼元を断ち、消火剤を用いて消火する。消火作業は風上から行き、状況に応じて呼吸保護具を着用する。	水、粉末、炭酸ガス、乾燥砂。

漏洩時の措置	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用機材を準備する。作業の際にはゴム手袋、防塵マスク、保護眼鏡等を着用し、皮膚に付着したり吸入したりしないようし、風下で作業をしない。 ・ 飛散したものは、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて密閉できる空容器に出来るだけ回収し、残りは大量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

輸送上の注意	
	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。容器は直射日光を避け、常温で保存し、輸送する。その他、毒物及び劇物取締法、消防法の定めるところによる。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには注意してください。
 含有量、物理化学的性質の値は保証値ではなく、記載内容は随時改訂されることがあります。

1. 60%キシレン 物質の特性

単一製品、混合物の区別	：混合物		
化学名	キシレンを含む混合物		
成分及び含有量	キシレンが60%程度含まれている。		
化学式／分子量	$C_6H_4(CH_3)_2=106$		
化審法公示番号	-----		
CAS No.	1330-20-7 (キシレンのCAS No.を示す)		
国連分類	-----	国連番号	-----
PRTR法	該当する。	労働安全衛生法	該当する。

危険・有害性の分類*

分類の名称	引火性液体、急性毒性物質
危険性	引火しやすい液体で、蒸気は空気と爆発性混合ガスを作り、引火し爆発の危険性がある。揮発性物質であり、密閉された屋内で火災爆発の危険性がある。
有害性	眼、皮膚、粘膜に対する刺激性があり、吸入、経口、皮膚を介して摂取すると、頭痛、めまい、吐き気、平衡障害等を引き起こす。高い濃度を摂取すると、チアノーゼ、肺水腫を起こし、意識消失して死に至る場合がある。
環境影響	-----

応急措置

眼に入った場合	直ちに多量の水で15分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とす。皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、充分うがいさせる。安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。また、嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
誤飲した場合	意識のある場合は多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

取扱いおよび保管上の注意

取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火気厳禁とし、高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触は避ける。 ・ 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。 ・ 取扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密栓する。 ・ 漏れ、あふれ、飛散しないようにする。 ・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いはしない。 ・ 静電気対策として作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。
保管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて設置する。 ・ ボイラー等熱源付近や可燃性の近くに置かない。

- ・容器は直射日光を避け、常温で保存する。
- ・その他は毒物及び劇物取締法、消防法に準じる。

暴露防止措置	管理濃度	-----			
	許容濃度 設備対策	-----	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。 ・取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。 		
	保護具		有毒ガス用防毒マスク、空気呼吸器、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用する。		
物理／化学的性質					
	外観等	特異臭のある液体	蒸気比重	-----	
	沸点	-----	融点	-----	
	溶解性	水に不溶。有機溶媒に可溶。			
危険性情報	安定性、反応性、引火性、急性毒性あり。				
有害性情報	急性毒性：	吸入	マウス	LC ₅₀	3460 ppm
		経口投与	ラット	LD ₅₀	4300 mg/kg
	慢性毒性	あり	変異原性	-----	(キシレンとして)
	がん原性	-----	刺激性	あり。	
廃棄上の注意	廃棄は焼却により行う。または許可を得た廃棄物処理業者に処理を委託する。				
備考	研究用試薬				